

2021年度 業績の概要

2022年5月26日

日本生命保険相互会社
Nippon Life Insurance Company

1 グループ概況

2 国内生命保険事業

3 業績見通し

【参考】グループ各社の概況

① 決算のポイント

グループ


保険料等収入


 5兆3,860億円

〔 対20年度 +3.8% / 対19年度 ▲5.8% 〕

- グループ各社で増収となり、対20年度で増収
- 対19年度では、外貨建保険の販売減少を主因に減収


基礎利益


 8,721億円

〔 対20年度 +26.3% / 対19年度 +25.3% 〕

- 国内外の企業業績回復による株式配当金および投信分配金の増加を主因に増加


新契約年換算保険料


 3,943億円

〔 対20年度 +28.4% / 対19年度 ▲3.2% 〕

- 銀行窓販チャネルは、対19年度で減少となっており、国内計でコロナ禍前の水準には回復していない状況

保有年換算保険料


 4兆5,695億円

〔 対21年3月末 +1.3% 〕

- 新契約の増加に加え、円安の影響により増加

業績見通し

増収・減益

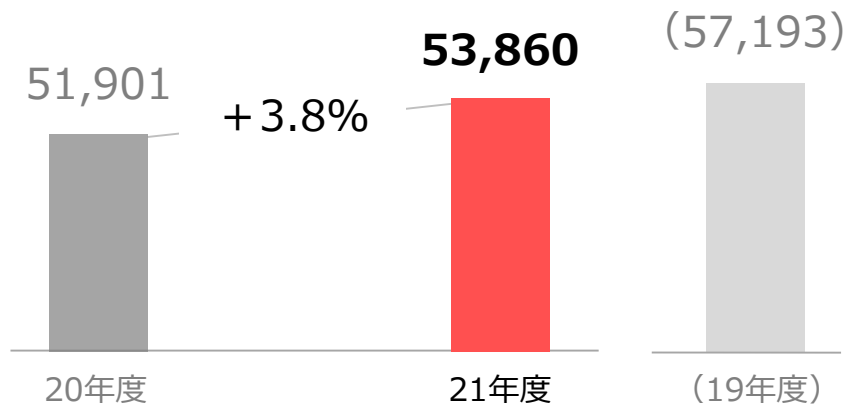
- 保険料等収入は外貨建保険の販売増加により、増収見込み
- 基礎利益は利差益の減少を主因に減益見込み

個人保険・個人年金保険
国内生命保険

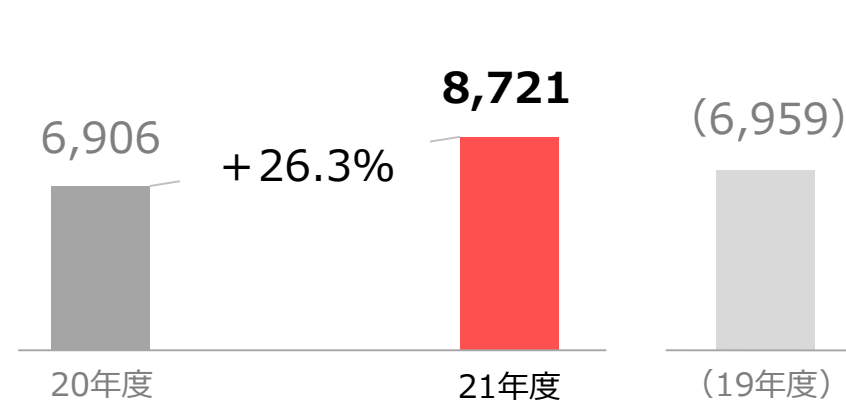
グループ

② 保険料等収入・基礎利益

保険料等収入 (単位：億円)



基礎利益 (単位：億円)



	2021年度	対20年度	対19年度
保険料等収入	53,860	+3.8%	▲5.8%
日本生命	43,079	+1.0%	▲4.8%
大樹生命	4,986	+13.0%	▲25.3%
ニッセイ・ウェルス生命	3,501	+23.8%	+13.3%
はなさく生命	137	+101.4%	+779.2%
MLC	1,812	+13.1%	+3.4%

	2021年度	対20年度	対19年度
基礎利益	8,721	+26.3%	+25.3%
利差益	3,865	+94.7%	+75.0%
保険関係損益	4,639	▲5.9%	▲1.5%
日本生命	7,966	+21.3%	+23.0%
大樹生命	382	+44.2%	+33.3%
ニッセイ・ウェルス生命	346	+40.1%	+34.2%
はなさく生命	▲189	▲18.6%	▲84.6%
MLC	23	*	*

※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、MLC Limited（以下、MLC）、米国日生を対象に算出）

※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

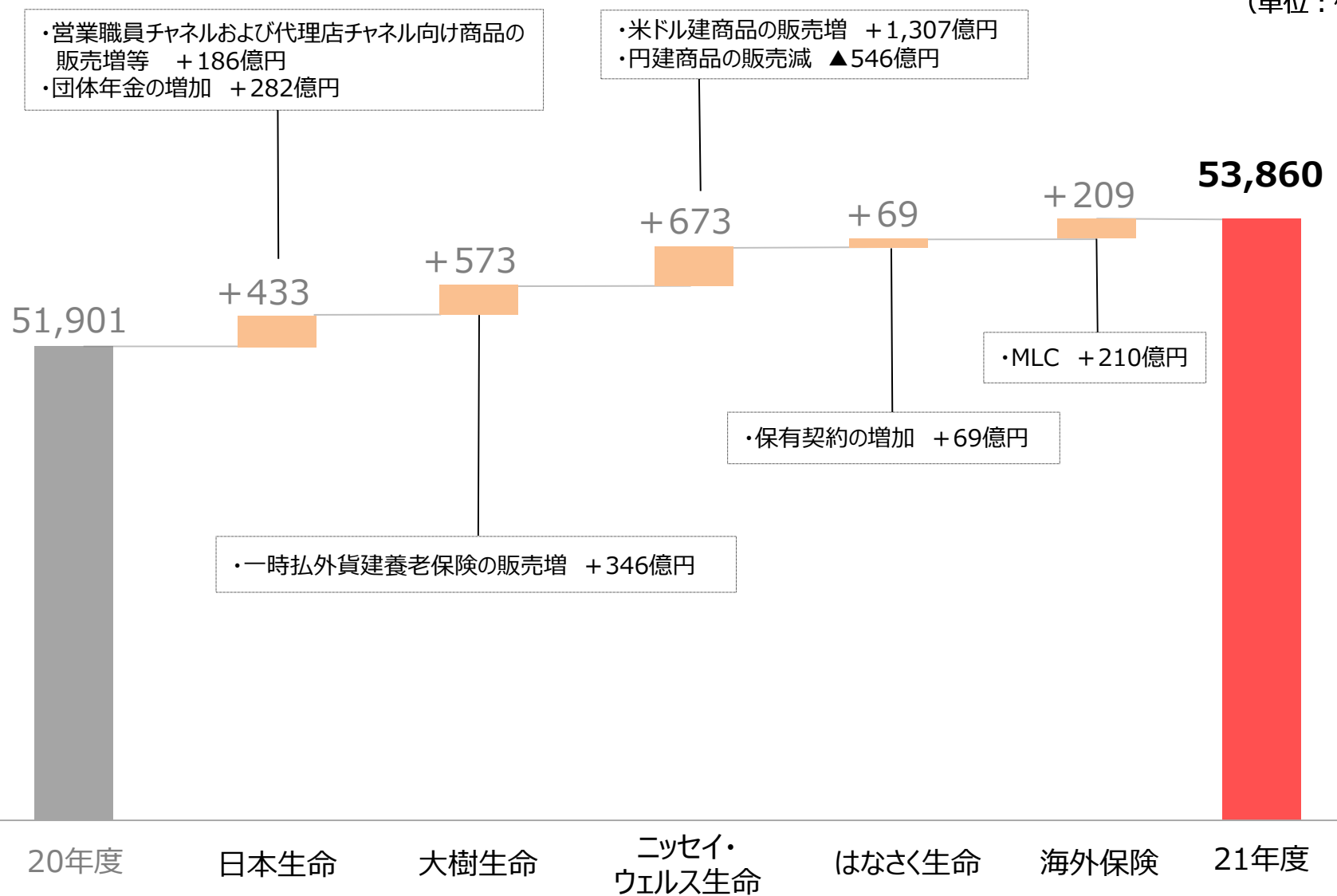
※ 利差益、保険関係損益は国内生保の合計

* 前年度数値がマイナス、当年度数値がプラスにより、増加率算出不可



③ 保険料等収入

(単位：億円)



※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、MLC、米国日生を対象に算出）

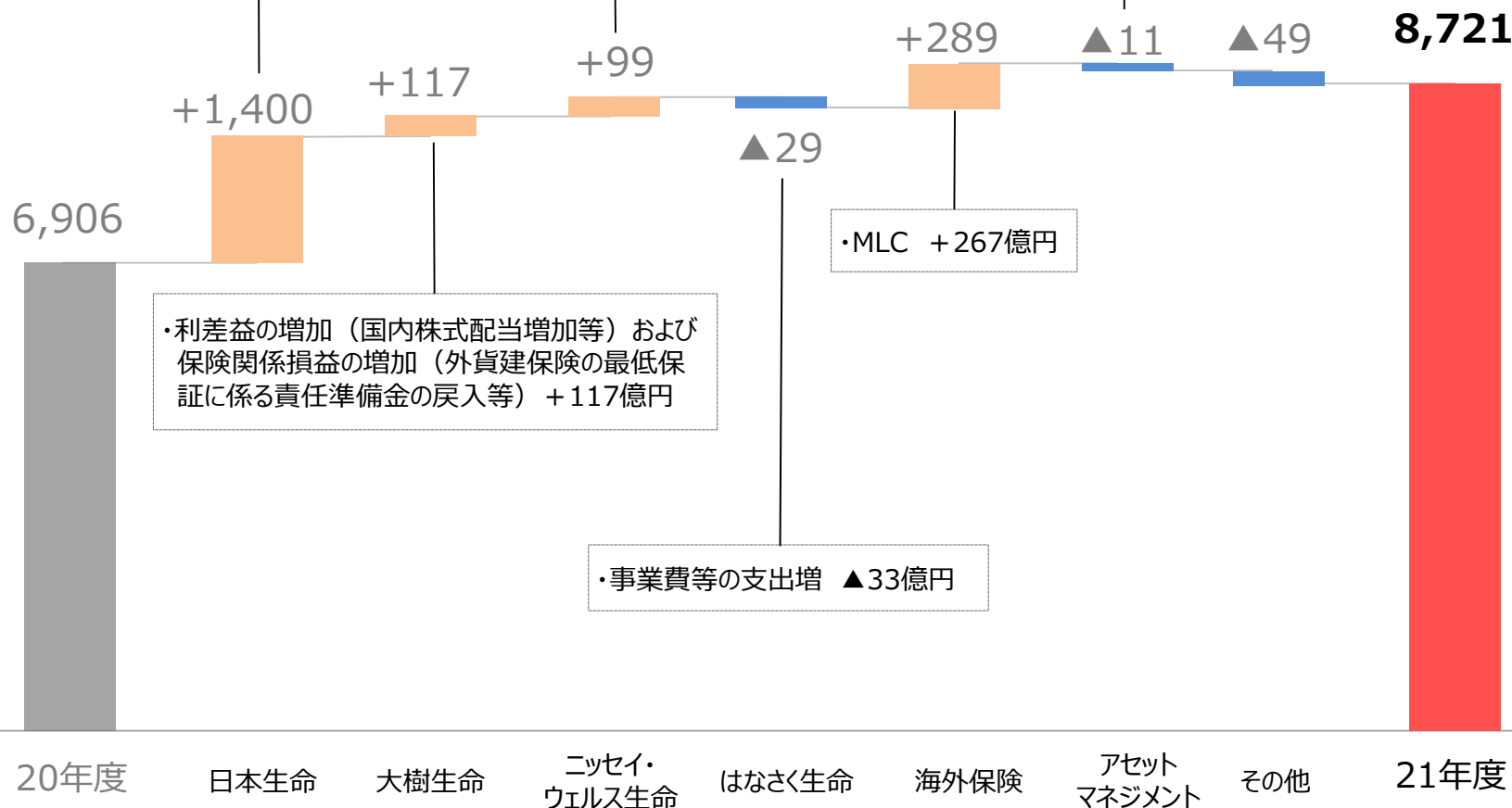
4 基礎利益

(単位：億円)

・利差益の増加（企業業績の回復による株式配当金および投信分配金の増加等）+1,720億円

・外国証券配当等の増加 +107億円

・ニッセイアセット ▲7億円



・利差益の増加（国内株式配当増加等）および保険関係損益の増加（外貨建保険の最低保証に係る責任準備金の戻入等）+117億円

・MLC +267億円

・事業費等の支出増 ▲33億円

※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

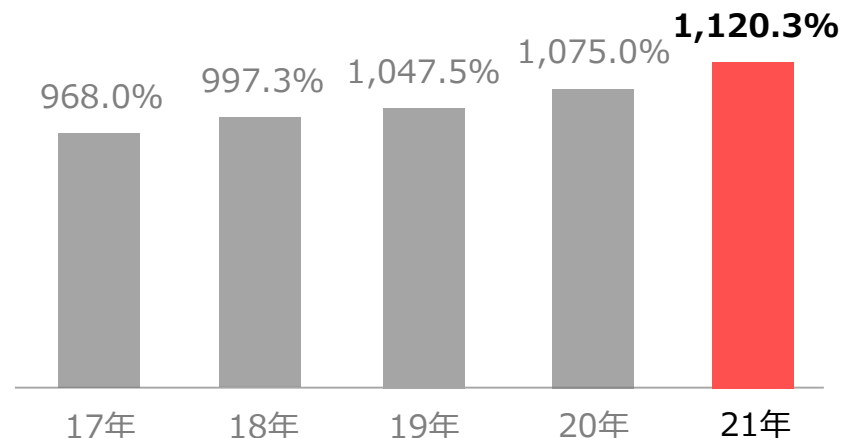
※ その他は配当消去の増減

※ 【会社名称】 ニッセイアセット：ニッセイアセットマネジメント

⑤ 健全性

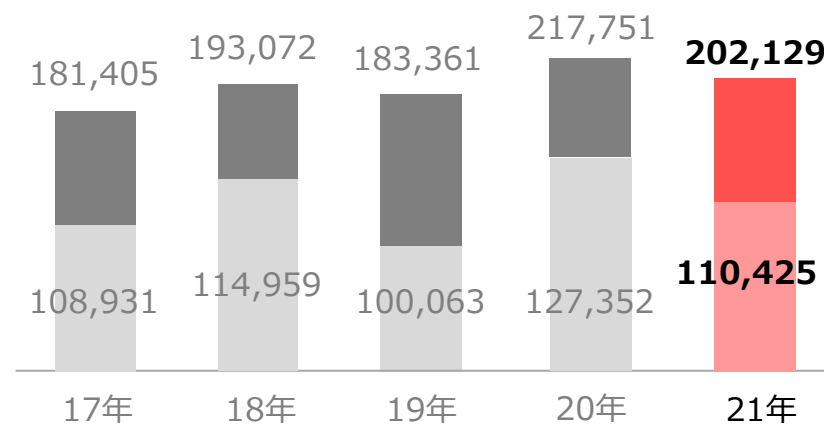
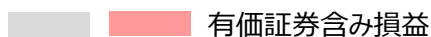
- ソルベンシー・マージン比率は、劣後ローン調達等の自己資本の強化に伴い、対20年度で増加。
- 実質純資産は、自己資本を積増したものの、有価証券の含み益の減少により、対20年度で減少。

ソルベンシー・マージン比率



(単位：億円)

実質純資産



 有価証券含み損益

※ 有価証券含み損益は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、海外生命保険子会社、その他連結対象子会社を対象に算出

⑥ 損益計算書・貸借対照表

損益計算書

- 経常利益は、対20年度で増加。
- 当期純剰余は、対20年度で増加。

(単位：億円)

	2021年度	前年度比
経常収益	83,568	+2.4%
保険料等収入	53,860	+3.8%
資産運用収益	26,959	+0.5%
経常費用	78,214	+1.8%
保険金等支払金	46,298	▲1.4%
資産運用費用	3,864	+11.3%
事業費	8,029	+1.4%
経常利益	5,354	+12.6%
(基礎利益)	8,721	+26.3%
特別損益	▲855	+7.0%
当期純剰余(利益)	3,467	+4.6%

貸借対照表

- 総資産・負債ともに、対21年3月末で増加。
- 純資産は、対21年3月末で減少。

(単位：億円)

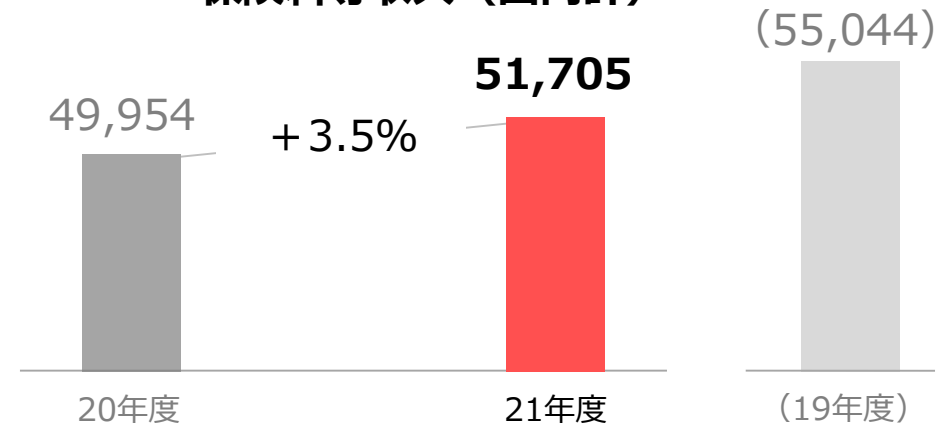
	2022年 3月末	前年度末比
総資産	883,819	+3.3%
うち有価証券	733,736	+3.7%
うち貸付金	84,376	+0.2%
うち有形固定資産	18,753	▲3.4%
負債	803,289	+4.6%
うち保険契約準備金	699,227	+2.4%
うち責任準備金	685,479	+2.4%
うち価格変動準備金	16,845	+4.6%
純資産	80,530	▲8.7%

① 保険料等収入

- デジタルツールの活用により、コロナ禍における営業職員の活動量が一定増加したことに加え、各チャネルにおける法人向け商品や外貨建保険の販売増等により、対20年度で増収。
- 一方、コロナ禍前の19年度比では、営業職員チャネルをはじめ販売業績は回復し切れず、さらには銀行窓販チャネルにおける外貨建保険の販売が減少したことを主因に減収。

保険料等収入（国内計）

（単位：億円）



	2021年度	対20年度	対19年度
保険料等収入（国内計）	51,705	+3.5%	▲6.1%
うち個人保険・個人年金保険	36,996	+3.1%	▲5.5%
営業職員チャネル	27,410	+0.2%	▲2.5%
代理店チャネル	4,306	+8.9%	▲3.4%
銀行窓販チャネル	5,279	+15.7%	▲19.8%
うち団体保険	2,849	+1.3%	+2.7%
うち団体年金保険	10,941	+3.2%	▲2.7%

※ 日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値

② 新契約

- 国内の個人保険・個人年金保険における新契約の年換算保険料は、対20年度で増加。
- 一方、対19年度では銀行窓販チャンネルがコロナ禍前の水準には回復していないため、減少。

個人保険・個人年金保険

(単位：億円、万件)

	年換算保険料			件数			保障額等		
	2021年度	対20年度	対19年度	2021年度	対20年度	対19年度	2021年度	対20年度	対19年度
国内計	3,943	+28.4%	▲3.2%	487	+15.6%	▲7.6%	99,797	+23.0%	+4.7%
営業職員チャンネル	2,274	+32.8%	+7.5%	463	+15.1%	▲7.8%	75,116	+13.0%	▲7.2%
代理店チャンネル	610	+37.2%	+52.3%	17	+30.1%	+19.5%	19,011	+90.4%	+169.4%
銀行窓販チャンネル	1,057	+15.7%	▲32.1%	6	+11.7%	▲40.7%	5,630	+21.4%	▲23.3%
日本生命	2,739	+30.5%	+9.4%	449	+12.3%	▲10.1%	82,053	+13.9%	▲2.8%
大樹生命	241	+27.0%	▲27.4%	22	+96.3%	+16.0%	6,536	+17.0%	▲18.9%
ニッセイ・ウェルス生命	883	+21.1%	▲26.2%	3	+38.4%	+34.5%	3,628	+46.4%	+32.7%
はなさく生命	78	+53.2%	+104.9%	12	+59.8%	+95.2%	7,579	+662.1%	*

* 対比数値が僅少により、1000%を超える増加率

③ 保有契約

- 国内の個人保険・個人年金保険の保有契約は、年換算保険料・件数は増加、保障額等は減少。
- 団体保険は減少、団体年金保険は増加。

個人保険・個人年金保険

(単位：億円、万件)

	年換算保険料		件数		保障額等	
	2022年 3月末	前年度末比	2022年 3月末	前年度末比	2022年 3月末	前年度末比
国内計	45,695	+1.3%	3,793	+2.9%	1,749,525	▲0.7%
日本生命	37,700	+0.9%	3,472	+2.6%	1,533,927	▲0.9%
大樹生命	5,118	▲0.6%	259	+2.0%	173,128	▲4.2%
ニッセイ・ウェルス生命	2,720	+10.0%	35	+6.0%	34,094	+7.6%
はなさく生命	155	+81.7%	24	+82.4%	8,374	+681.2%

団体保険・団体年金保険

	団体保険 (保障額等)		団体年金保険 (受託資産等)	
	2022年 3月末	前年度末比	2022年 3月末	前年度末比
国内計	1,098,406	▲0.6%	184,952	+3.6%
日本生命	982,613	▲0.5%	138,953	+1.8%
大樹生命	115,793	▲1.2%	7,809	+0.1%

※ 団体保険・団体年金保険の国内計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命の合計値
 団体年金保険の国内計には、ニッセイアセットマネジメントの投資顧問残高(31,015億円)、確定拠出年金の投資信託(日本生命販社分7,161億円)を含む

④ ご契約者配当

- 日本生命および大樹生命における個人保険・個人年金保険について、前年度に引き続きご契約者への配当を実施する方針。

ご契約者配当の方針 (個人保険・個人年金保険)

日本生命

- 個人保険・個人年金保険について、ご契約者配当を実施。危険差益配当は**増配**、利差益配当は据え置きとする方針
 - 約1,000万件のご契約を対象にご契約者配当を実施
 - うち約600万件のご契約が増配の対象

大樹生命

- 個人保険・個人年金保険について、**ご契約者配当を実施**（水準は据え置き）
 - 約3万件のご契約を対象にご契約者配当を実施

【参考】新型コロナウイルス感染症によるお支払いについて

■ 保険金のお支払い

		2021年度
死亡保険金		約1,930件 約163.9億円
	災害保険金	約300件 約17.9億円

■ 給付金のお支払い

		2021年度
入院給付金		約151,610件 約226.8億円
	みなし入院	約133,500件 約198.8億円

【参考】2020年度の新型コロナウイルス感染症による保険金・給付金について

■ 保険金のお支払い

		2020年度
死亡保険金		約800件 約85.2億円
	災害保険金	約140件 約9.4億円

■ 給付金のお支払い

		2020年度
入院給付金		約15,580件 約21.1億円
	みなし入院	約8,580件 約11.0億円

① 業績見通し

- 2022年度は日本生命グループ計で、前年度から増収・減益を見込む。
- 保険料等収入は、外貨建保険の販売増加を主因に増収を見込む。
- 基礎利益は、投信分配金増加分の剥落やヘッジコストの増加を主因に減益を見込む。

2022年度決算以降の
基礎利益の定義見直しについて

主な改正項目	改正の方向性
為替に係るヘッジコスト	基礎利益の算定に含める
投資信託の解約損益	基礎利益の算定から除外
有価証券償還損益のうち 為替変動部分	

(単位：億円、百万豪ドル)

	保険料等収入		基礎利益	
	2021年度	2022年度 見込み	2021年度 (定義見直し後)	定義見直し後 2022年度 見込み
グループ計	53,860	増加	8,721 (8,515)	減少
日本生命	43,079	増加	7,966 (7,752)	減少
大樹生命	4,986	増加	382 (396)	減少
ニッセイ・ウェルス生命	3,501	増加	346 (339)	減少
はなさく生命	137	増加	▲189 (▲189)	減少
MLC	1,787	増加	28 (28)	減少

※ 保険料等収入のグループ計は、連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、MLC、米国日生を対象に算出）

※ 基礎利益のグループ計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

※ MLCの保険料等収入は収入保険料。基礎利益は税引前利益に持分比率、金利変動要因等の除外を行い算出（現地通貨ベース）

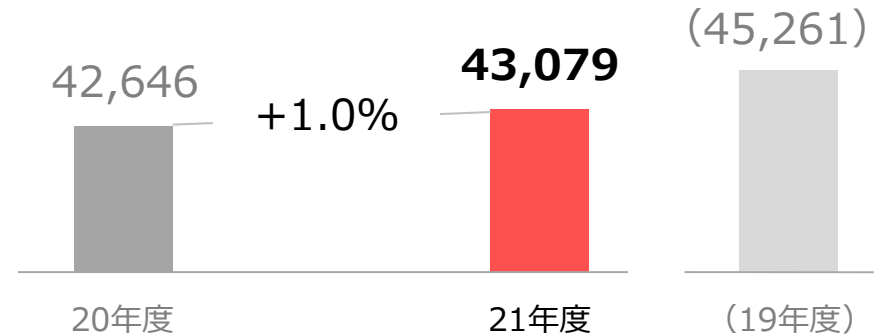
【参考】
グループ各社の概況

【参考】日本生命（単体）：収支

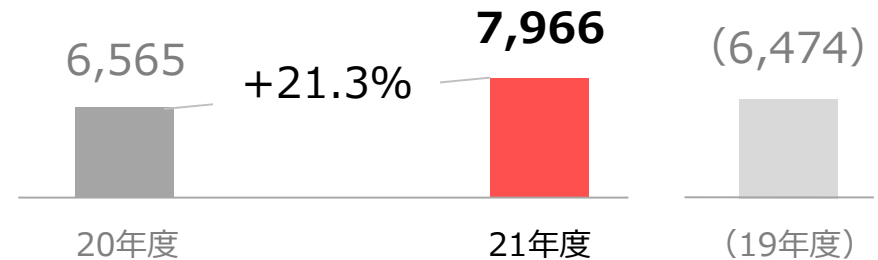
- 日本生命単体は、対20年度で増収・増益。
- 保険料等収入は、活動量の増加による営業職員および代理店チャネル向け商品の販売増加および団体年金の増加により増収となったものの、対19年度では減収。
- 基礎利益は、企業業績の回復による株式配当金および投信分配金の増加により増益。

保険料等収入

(単位：億円)



基礎利益



	2021年度	対20年度	対19年度
基礎利益	7,966	+21.3%	+23.0%
利差益	3,686	+87.5%	+66.8%
費差益	363	▲7.2%	+29.0%
危険差益	3,916	▲6.9%	▲1.7%

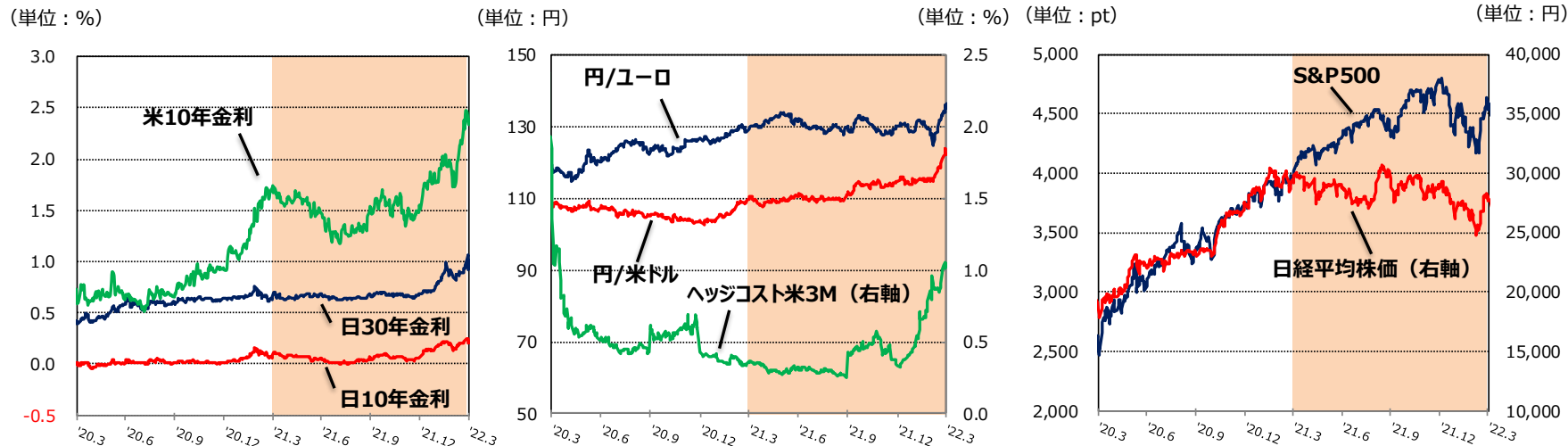
【参考】日本生命（単体）：資産運用

- 資産運用収支は、対20年度で増加。
- 資産運用収益は、株式配当金および投信分配金の増加を受けた利息及び配当金等収入の増加を主因に増加。
- 資産運用費用は、有価証券売却損の増加により増加。

資産運用収支（一般勘定）（単位：億円）

	2021年度	対20年度
資産運用収益	20,869	+1,221
うち利息及び配当金等収入	15,373	+1,553
うち有価証券売却益	4,652	▲420
資産運用費用	2,562	+287
うち有価証券売却損	1,136	+734
うち有価証券評価損	131	+81
うち金融派生商品費用	129	▲350
資産運用収支	18,307	+933

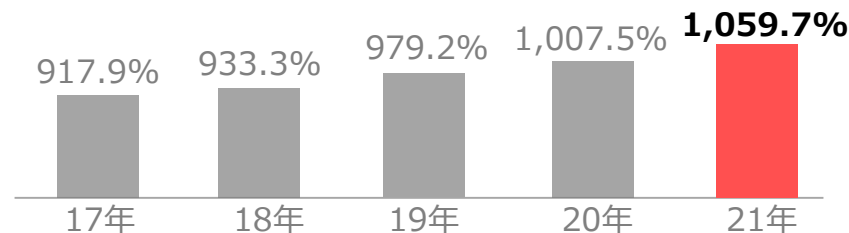
マーケット状況



【参考】日本生命（単体）：健全性

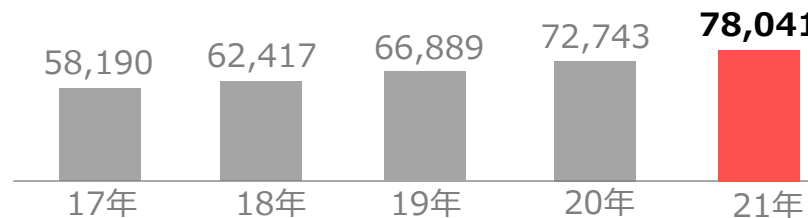
- ソルベンシー・マージン比率は、劣後ローン調達等を通じた自己資本の強化に伴い、対20年度で増加。
- 有価証券の含み益は、内外金利の上昇を受けた国内債券および外国証券の含み益の減少を主因に対20年度で減少。

ソルベンシー・マージン比率



自己資本

(単位：億円)



有価証券 含み損益

(単位：億円)

	2022年 3月末	対21年 3月末
有価証券	106,789	▲ 16,361
公社債	21,351	▲ 10,099
国内株式	56,250	▲ 2,392
外国証券	28,122	▲ 2,826
その他	1,064	▲ 1,042

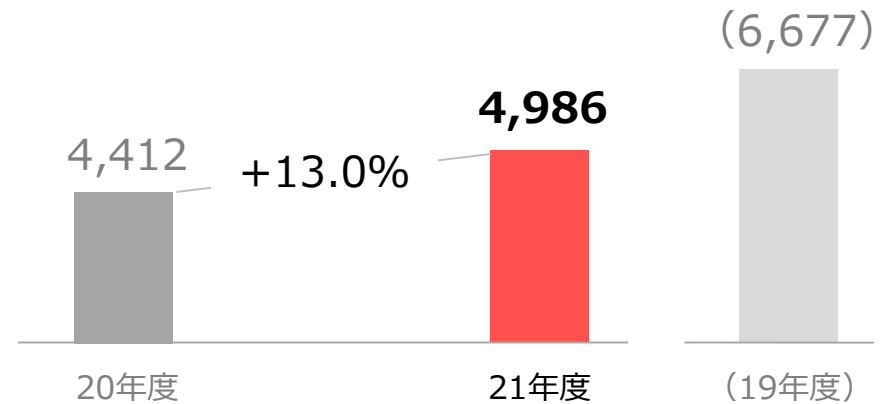
※ 市場価格のない株式等および組合等は除いて算出

【参考】大樹生命

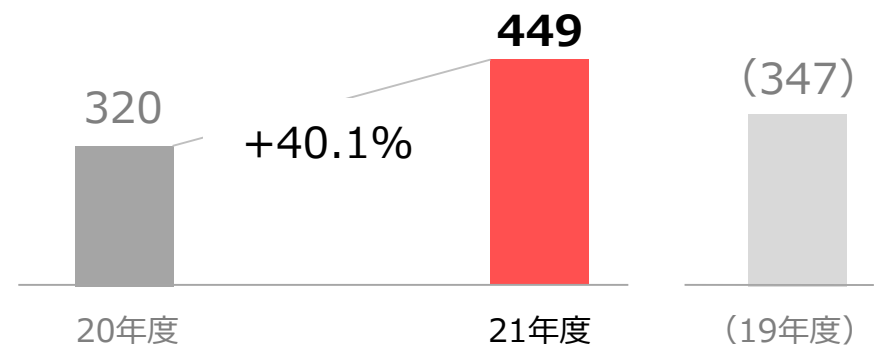
- 大樹生命は、対20年度で増収・増益。
- 保険料等収入は、一時払外貨建養老保険の販売増加を主因に増収となったものの、対19年度では減収。
- 基礎利益は、国内株式配当金の増加等により利差損益が改善したこと、外貨建保険の最低保証に係る責任準備金の戻入により保険関係損益が増加したことで増益。

(単位：億円)

保険料等収入



基礎利益



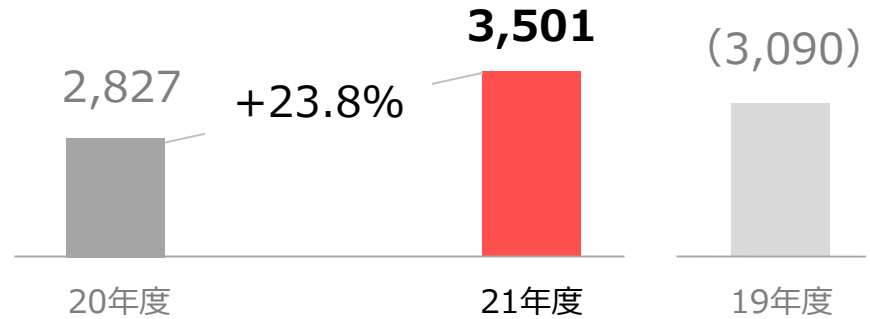
※ 単体の数値を記載

【参考】ニッセイ・ウェルス生命

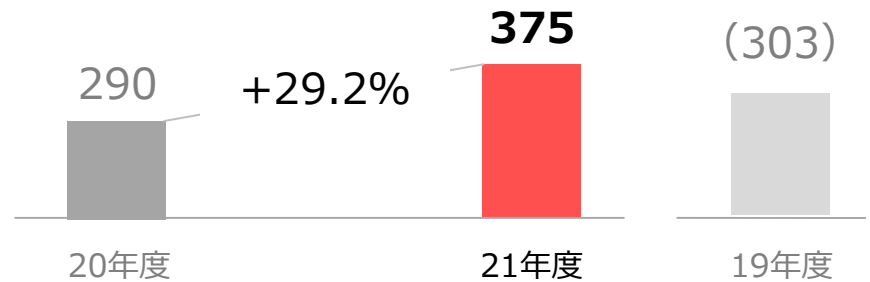
- ニッセイ・ウェルス生命は、対20年度で増収・増益。
- 保険料等収入は、米ドル建商品の販売が増加したことを主因に増収。
- 基礎利益は、外国証券配当等の増加により増益。

(単位：億円)

保険料等収入



基礎利益



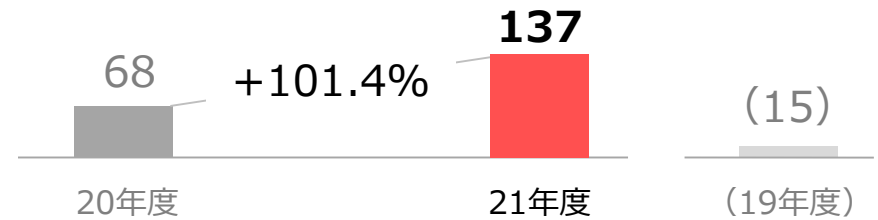
※ 単体の数値を記載

【参考】 はなさく生命

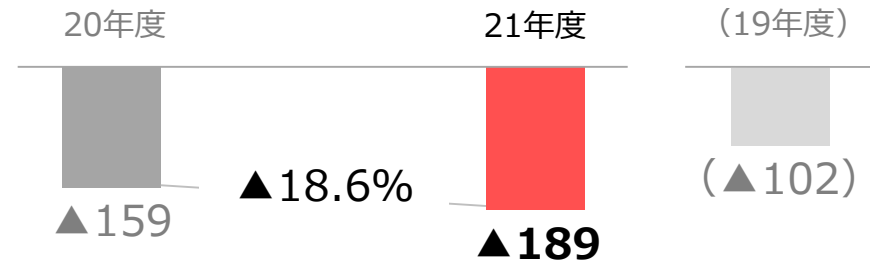
(単位：億円)

- はなさく生命は、対20年度で増収・減益。
- 保険料等収入は、保有契約の着実な拡大に伴い、増収。
- 基礎利益は、事業拡大による事業費等の支出増を主因に減益。

保険料等収入



基礎利益



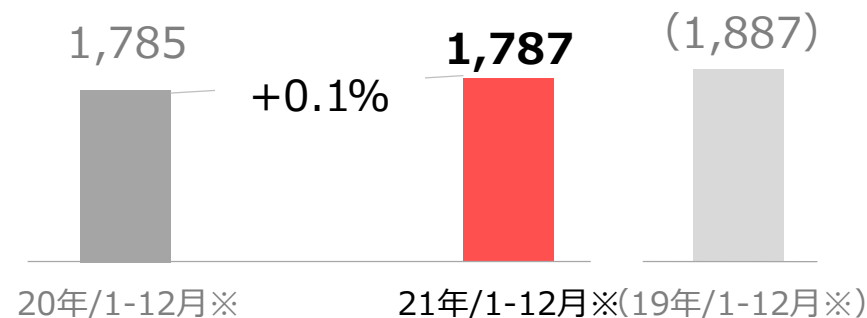
※ 単体の数値を記載

【参考】MLC

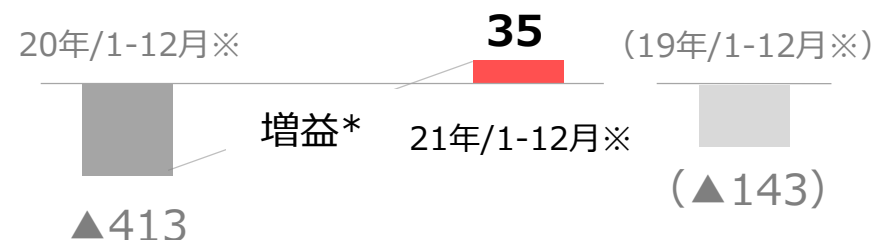
- MLCは、対20年度で増収・増益。
- 収入保険料は、銀行窓販領域が減少した一方、団体保険領域の増加により、ほぼ横ばい。
- 基礎利益は、個人保険の収支改善を主因に3期ぶりの黒字化。

(単位：百万豪ドル)

収入保険料



基礎利益



※ 単体の数値を記載

※ 第4四半期決算では1-12月期を連結反映

* 前年度数値がマイナス、当年度数値がプラスにより、増加率算出不可